

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	独立行政法人国立病院機構奈良医療センターほかほか		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性や状態に応じ、個々に環境を設定し支援している。	限られた利用時間内で、ニーズの高い入浴支援を毎回提供している。また、5領域に基づく療育活動や家族支援や移行支援や地域支援の内容を個別支援計画書に記載し、半年に1度、計画を評価し支援を提供している	長期休み等、比較的利用時間が長い時に、療育活動の提供時間を増やし、他の利用者と交流する活動を行う
2	学校や相談支援事業所と連携を図っている	学校や相談支援事業所との情報共有や生活介護への移行時には実習の受け入れ、及び支援内容の共有を行い、シームレスな福祉事業の提供が行えるよう実施している	卒後の利用希望者が今後も増えると予想されるため、人員配置等を拡充し安定的にサービスを提供できるよう図る
3	家族参加型の行事を実施し、家族交流、及び地域交流が図れるよう実施している	地域の事業所と交流を図ったり、家族参加型の行事を実施することで家族間交流が図れるよう実施している	放課後等デイサービスの利用者については、日程や時間の関係で参加が少ない傾向にあるため、放課後等デイサービスの利用者も参加しやすい時期での設定等検討が必要

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館、地域の他の子どもとの関わりを持つ機会がない	利用が限定的であるため、機会の設定が困難。また、交流もないため当院の事業について認知されていない	地域の事業所と交流を持つ機会を作り、当院の事業についての認知度を高める
2	放課後等デイサービスの利用者数が少ないため、同世代の利用者が交流する機会が少ない	利用希望はあるが、多機能型で他事業との兼ね合いもあり、受け入れが難しい	人員配置等を拡充することで受け入れの幅を広げる
3	利用者家族に対して家族支援プログラム、研修や情報提供の機会が設けられていない	情報提供についての家族のニーズの聞き取りが行えていない	面談時に家族のニーズの把握に努め、必要に応じて研修や情報提供が行えるよう努める

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		独立行政法人国立病院機構奈良医療センターばかばか			公表日		令和8年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		別室で、運動やリラックスできる部屋がある		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			医療度が高い利用者を増やすためには人員の確保が必要	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		設備はバリアフリーとなっており、死角があまりなく情報伝達がしやすい環境になっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃されている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		必要時は個人の空間が準備できる環境がある		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		日常的に振り返っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見があれば共有し、業務に反映している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎月通所会議を開催し、意見交換や振り返り、情報共有の場としている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		積極的に研修に参加している		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページで公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個々にニーズを確認し、支援に反映できるよう個別支援計画に明記している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		電子カルテ内で共有。また、担当者会議を開催し支援の方向性など共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		チームで分担し実施している		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		新しい内容を取り入れられるようチーム内で相談し実施している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		電子カルテ内に記録し、全体で共有できるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2	下校時刻等についての共有は出来ていないが、支援内容や卒後の支援については情報共有を図っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		利用時間の関係上難しい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や計画説明時には保護者との面談の機会をもち支援やニーズについて話している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		毎年、契約更新及び重要事項説明の際に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	3	家族参加型の行事を実施しており、家族交流が持てるよう図っている	参加者が少なく、限定的であるため、内容の検討が必要
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		年に4回機関紙を出している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	地域交流を目的に行事を実施している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				